

関係 大学長
関係機関の長 殿

山口大学人文学部長
根ヶ山 徹
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領により教員を公募することになりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮でございますが、貴機関関係者の方へご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 所属講座 人文学部言語文化学科アジア言語文学講座
2. 採用職名・人員 准教授または講師 1名
3. 専門分野 日本文学 (日本近代文学を研究対象としている者で、第二次世界大戦後の現代文学についても幅広く講義できる者が望ましい。)
4. 担当授業科目
学 部： 日本文学概論，日本文学史，日本文学講読，日本文学演習，
日本文学特殊講義
大 学 院： 日本文学論，日本文学論演習
共通教育： 基礎セミナー ほか
ただし、必要に応じて担当科目を変更することがあります。
5. 応募資格 ① 博士の学位を有する者，またはそれと同等の研究業績を有する者
② 教育・研究活動に意欲的であり，かつ学生指導に情熱を持つ者
③ 採用予定日 (平成27年4月1日) に着任可能である者
④ 採用後，山口市及び周辺の通勤可能な地域に居住できる者
6. 採用予定年月日 平成27年 4月 1日
7. 応募期限 平成26年 10月20日 (月) 必着
8. 提出書類
1) 履歴書 (写真貼付) 3通 (2通はコピーでも可)
2) 研究業績一覧表 (別紙様式) 3部 (2部はコピーでも可)
3) 主な研究業績 3点・各3部 (別刷，またはコピーでも可)
4) 主な研究業績3点について要約を記したものの
(様式任意，1編につき500字程度) 各3部
5) 「現在までの教育・研究の概要と今後の抱負」 (様式任意，A4判2,000字程度) 3部
6) 日本文学概論の授業のシラバス
(様式は山口大学のホームページを参照し，概要，一般目標，授業計画 (全体，週単位)，成績評価法 (全体)，教科書，参考書について記入してください) 3部
<https://www.kyomu.jimu.yamaguchi-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx?>

※ 書類選考後，二次選考 (面接等) を行います。面接に伴う旅費等は本人負担となります。

※ 応募書類により取得する個人情報 は，採用者の選考及び採用の手続きに利用するものであり，この目的以外で使用することはありません。

(次頁へ続く)

9. 応募書類の作成について

- 1) 履歴書：学歴は高校卒業時より記載し、学位についてはその名称、授与年月日、授与した大学名、学位記番号及び研究題目を記載すること。
- 2) 研究業績一覧表：次の区分に従って記載すること。
 - I 著書：著書は単著と共著を区別する。
(著者名、発表年、題目、著書名、編者、出版社名、ページ数(共著の場合は担当ページを記載))
 - II 論文：単著と共著を区別、発表年月、題目、掲載誌または発行所、査読の有無を記載する。
 - III 参考：
 - a. 学会発表：題目、学会名、発表年月等
 - b. 外部資金獲得実績：科学研究費補助金、受託研究等外部資金獲得実績
 - c. 辞書編纂・翻訳等：題目、掲載誌または発行所、発行年月等
 - IV 教育実績

10. その他

- 1) 選考にあたり、新たに資料の提出を求める場合があります。
- 2) 採用された場合、本学人文学部及び大学院人文科学研究科の教員として教育・研究に従事するほか、学生指導、学部及び大学運営等に係る各種業務を担当します。
- 3) 本学の定年年齢は65歳です。

11. 応募書類送付先及び問合せ先

〒753-8540 山口県山口市吉田1677-1

山口大学人文学部言語文化学科アジア言語文学講座人事担当 宛

電話：(083)933-5200(代表)

E-Mail：hc143@yamaguchi-u.ac.jp

※ 封筒に「アジア言語文学講座教員応募書類 在中」と朱書きのうえ、「簡易書留」で郵送してください。

また、応募書類は原則として返却いたしません。返却を希望する場合は、切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

山口大学は教職員の仕事と家庭の両立支援に力を入れて取り組んでいます。

- ・「やまぐち男女共同参画推進事業者」の認証(平成25年9月11日)
- ・「やまぐち子育て応援優良企業表彰」の受賞(平成25年10月19日)

東京工業高等専門学校国語担当教員公募要領

1. 専 門 分 野：国語または国語教育
2. 職位及び人員：准教授、講師、または助教 1名
3. 教育担当分野：現代国語、古典、文書表現法など
4. 応 募 資 格：(1) 国語学・日本語学または国語教育の分野に関して、修士以上の学位を取得していること
(2) 高等学校以上の教育機関での国語科目の教育経験(非常勤講師・塾講師を含む)を有し、作文指導の経験もあること(3年以上の経験が望ましい)
(3) 国語教員免許を取得していることが望ましい
(4) 高専教育制度を十分に理解し、クラス担任、クラブ・委員会活動等授業以外の業務にも積極的に関わっていただけること
(5) 教員グループとしての教育活動に積極的であること
5. 着 任 時 期：平成27年 4月 1日
6. 応 募 締 切：平成26年10月24日(金) 必着
7. 提 出 書 類：次の全てを、ご提出ください。
 - (1) 履 歴 書 / 1通
指定書式を用いて、学歴、職歴、資格等を書き、氏名(自筆)、捺印、写真添付のこと。
 - (2) 着任後の「高専教育」及び「研究」についての具体的抱負 / 各1通
指定書式を用いて、各1,000文字以内で作成のこと。
 - (3) 教育研究業績一覧 / 1通
教育活動、研究論文(査読付論文を明示する)、著書、学会活動、外部資金(科研費等)の獲得状況など。
 - (4) 主要論文の別刷り / 3編以内
コピー可とする。各編100字以内の要約を添付すること。
 - (5) 推 薦 書 / 1通
自己推薦書ではなく、応募者本人に関係する方からの推薦書を提出のこと。推薦人の連絡先、本人との関係を明記したものを添付のこと)
 - (6) 連絡先票 / 1通
指定書式を用いて、連絡可能なe-mailアドレス、電話番号を記載のこと。
※問い合わせ、面接日の連絡、審査結果の連絡は、e-mailにて行います。
8. 選 考 方 法：書類による一次選考の後、面接(模擬授業を含む)による二次選考を行います。
 - 旅費は、応募者負担といたします。
 - 二次選考は11月15日(土)に行う予定です
9. 書 類 提 出 先：〒193-0997 東京都八王子市栢田町1220-2
東京工業高等専門学校 総務課 人事労務係
(電話：042-668-5115 / FAX：042-668-5090)
 - 応募書類は封筒に「国語担当教員応募書類」と朱書し、簡易書留郵便で送付してください。
 - 応募書類は返却しません。
 - 履歴書等の指定書式については、本校ホームページにも掲載しております。
東京高専HPトップページ > 一般・企業の皆さん > 教職員採用情報 > 教職員採用情報
<http://www.tokyo-ct.ac.jp/ippan/596/000646.html>

以 上

履 歴 書

平成 年 月 日現在

ふりがな				性別	男・女
氏名	(自署) ㊟				
生年月日	昭和 / 平成 年 月 日生 (満 才)				
現住所	〒		TEL		
連絡先	〒		TEL		
e-mail					

写 真

(4.0 × 3.0 cm)

学歴 (高校から記入)	学校名・学部学科(専攻)名等		修学期間(年. 月)	卒・修・中退の別
			~	
			~	
			~	
			~	
			~	
年	月	日	学位・技術士等 ※(修士以上の学位: 分野・取得大学・学位論文の題名, 技術士: 分野を記載)	
年	月	日	免許・資格等 ※学位・技術士等以外のものを記載すること	
年	月	日	職歴・教育歴 ※教育歴は担当科目名を記載すること	専任・非常勤等の 区別

[氏名 _____]

年	月	日	賞 罰
年	月	日	学会（所属学会）及び社会における活動
本人の健康 状 況			
家 族 状 況	配偶者、子 人、その他 人（ ） （該当する者に○印及び数を記入ください。また、その他の括弧には続柄を記入ください。） 特記事項：		
趣 味 及 び ス ポ ー ツ			
志望の動機			

着任後の「高等専門学校における教育」及び「高等専門学校における研究」についての具体的抱負
(行数・ページ数を増やしても構いません)

【高等専門学校における教育について】※ 1,000文字以内

[氏名 _____]

着任後の「高等専門学校における教育」及び「高等専門学校における研究」についての具体的抱負
(行数・ページ数を増やしても構いません)

【高等専門学校における研究について】※ 1,000文字以内

[氏名 _____]

連 絡 票

ふりがな		性別	男・女
氏名			

e-mail アドレス	所有者	確認可能時間帯
	職場 個人 その他 ()	終日 限定 (: ~ :)
	職場 個人 その他 ()	終日 限定 (: ~ :)
	職場 個人 その他 ()	終日 限定 (: ~ :)

電話番号	場所	通話可能時間帯
	自宅 携帯 職場 ()	終日 限定 (: ~ :)
	自宅 携帯 職場 ()	終日 限定 (: ~ :)
	自宅 携帯 職場 ()	終日 限定 (: ~ :)

- ※ 問い合わせ、面接日の連絡、審査結果等の連絡は、e-mailにて行います。
- ※ 緊急連絡がある場合には、電話連絡の方法をとる場合がありますので、日中連絡が取れる電話番号を記入してください。

関係各位

三重大学人文学部長 後藤 基

「公印省略」

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当学部では下記のとおり教員の公募を行うことになりましたので、ご多忙中まことに恐縮に存じますが、関係者並びに関係諸機関等へご周知下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 担当科目 アジア・オセアニアの民族と文化、アジア・オセアニアの社会、他(専門教育)
文化人類学(教養教育)
2. 職名及び人員 教授、准教授又は講師 1名
3. 応募資格 (1) アジア・オセアニアのいずれかの地域について文化人類学的研究を行っており、当該地域での持続的なフィールドワークの経験を有する者。
(2) 大学院修士課程(博士課程の前期課程を含む。)又は、学位規則第5条の2に規定する専門職学位(外国における授与されたこれに相当する学位を含む。)の修了者で、採用予定日において2年以上の教育又は研究歴を有する者、又はこれと同等以上と認められる者。ただし、研究歴には大学院(博士課程の後期課程)の在学期間を含めることができる。
(3) 大学院の授業担当が可能な者。
4. 応募書類 (1) 履歴書(写真貼付)【市販のもので可】
(2) 研究業績一覧表：①著書、②博士論文、③論文、④その他、に分類すること(査読つき論文は明示すること)。また末尾に、必ず実施したフィールドワークの対象地域、時期と期間、資金の出所(科研、自費等)を記すこと。
(3) 提出する研究業績：①、②、③のすべてを各1部提出。ただし、③の論文の内の主要なもの3点については各3部提出。(いずれもコピーでも可。④は不要)
(4) ③の主要な論文3点それぞれの要旨(1つにつき1600字程度)各5部。さらに、①、②がある場合には、それぞれの要旨(1つにつき1600字程度)各5部。
(5) 研究計画書、教育自己評価・計画書、及び担当する授業のシラバス(所定様式)
(6) 上記科目の授業担当に関するこれまでの実績資料がある場合には提出することができる(様式任意)。
5. 選考過程における模擬授業等の実施 最終選考において候補者による模擬授業等を実施する。実施形態等については候補者に別途連絡する。なお、本校への旅費については本校の基準により支給する。
6. 採用予定日 2015(平成27)年4月1日
7. 応募締切日 2014(平成26)年10月31日(金)(必着)
8. 書類提出先 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部長 後藤 基
なお、応募書類は書留にし、「アジア・オセアニアの民族と文化教員応募書類」と表記(朱書)のこと。

9. その他

- (1) 居住地・・・津市及びその近郊に居住することが望ましい。
- (2) 著書と博士論文以外の応募書類は返却しない。著書と博士論文がある場合には返送先を明記した返信用封筒（切手不要）等を同封すること。
- (3) 個人情報保護の観点から応募書類については次のように取扱うこととする。
 - ・応募書類は選考以外の目的には使用しない。
 - ・返却しない書類は選考後適正に廃棄する。

本件の照会先・・・三重大学人文学部チーム総務担当 (Tel) 059-231-9195 (直通)

E-Mail : hum·somu@ab.mie-u.ac.jp

教育自己評価・計画書

年 月 日現在

氏名		職名	
教育自己評価の概要			
今後の教育計画			

注) 適宜、様式を調整し記入願います。

研究計画書

年 月 日現在

氏名		職名			
これまでの研究の概要					
	科学研究費補助金等研究助成金の受け入れ状況				
	名称	研究題目	代表者又は 分担者の別	助成金額	助成期間
					年 月～ 年 月
今後の研究計画					

(注) 適宜、様式を調整し記入願います。

三重大学シラバス

シラバス基本情報

授業科目名・単位数		単位
担当教員		
履修可能年次		
開講学期		
時間割		

授業内容・授業計画

授業形態	
キーワード・テーマ	
授業の目的・概要	
学生の到達目標	
本学教育目標との関連	
成績評価方法と基準	
オフィスアワー	
授業改善への工夫	

授業計画・学習内容と課題	
学 習 内 容	学習課題（予習・復習）
第1回	
第2回	
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

三重大学ウェブシラバスの見本です。詳しくは、<https://portal.mie-u.ac.jp/syllabus/>

各関係機関長 殿

国立大学法人福岡教育大学長
寺尾 慎一 (公印省略)

教員採用の公募について (依頼)

このことについて、下記のとおり公募いたしますので、貴機関の関係者に周知方よろしくお願いいたします。

記

1. 職 名 准教授または講師

2. 応募資格 次のいずれの条件にも該当する者 (国籍は問わない。)

- (1) 現代日本語または音声学・音韻論を主たる研究領域とし、これに関する研究業績を有する者
- (2) 大学院修士課程を修了した者またはこれに準ずる者
- (3) 「国語学概論 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。）」、「国語学研究」等 (下記3 (4) 参照) の講義・演習を担当できる者
- (4) 大学院修士課程国語教育コースの授業を担当できる者 (もしくは近年中に担当できる見込みの者)
- (5) 教員養成に強い意欲を有し、自身の専門性を生かしながら初等及び中等国語教育に関する授業や研究指導を担当できる者

※授業や大学運営に差し支えない程度の日本語能力を有することが望ましい。

3. 所属講座及び採用人員等

- (1) 所属講座：国語教育講座
- (2) 採用人数：1名
- (3) 専攻分野：国語学 (日本語学)
- (4) 担当予定科目：学部「国語科内容研究」、「国語学概論」、「国語学研究」、「国語学講義」、「国語学演習」、「日本語学概論」、「フレッシュマンセミナー」等
大学院「国語学特殊講義」、「国語学特殊演習」、「国語教育の内容と方法」等
なお、予定科目以外に留学生の指導にあたっていただく場合があります。

4. 応募書類 (選考終了時に返却いたします。)

- (1) 「個人調書」、「研究業績・教育業績書」、「学界及び社会における活動等」、「学内運営活動実績書」、「抱負書」(いずれも本学所定の様式による。)
- (2) 著書、論文、学会発表等の全ての研究業績の現物、別刷またはそのコピー
- (3) 最終学歴証明書
- (4) 博士の学位を有する場合は学位記のコピー
- (5) 「国語学概論」(中等教育教員養成課程国語専攻1年・2単位・講義)、「国語学研究」(初等教育教員養成課程国語選修2年・2単位・演習)に関する授業構想(シラバス)(書式自由)
- (6) 電話番号(携帯電話が望ましい)及びメールアドレスの連絡先(任意様式)

※本学所定の個人調書、研究業績・教育業績書、学界及び社会における活動等、学内運営活動実績書、抱負書は、次の方法で入手することができます。

- ・返信用封筒(宛先を明記した角形2号封筒に140円分の切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「国語教育講座教員公募書類請求」と朱書きして、「8 (1) 問い合わせ先」まで郵便により請求
- ・本学ホームページ (<http://www.fukuoka-edu.ac.jp/view.rbz?cd=308>) からダウンロード

5. 締 切 日 平成26年10月27日(月)〈必着〉

6. 採用年月日 平成27年4月1日

7. 応募書類送付先 〒811-4192 国立大学法人福岡教育大学長 宛

※封筒の表に「国語教育講座教員公募」と朱書きし、郵送の場合は書留にて送付してください。

8. 問い合わせ先

- (1) 事務手続き等の問い合わせ及び公募書類請求先
国立大学法人福岡教育大学人事企画課
〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1
電話 0940-35-1545
- (2) 担当科目等の具体的内容の問い合わせ先
国語教育講座 勝又 隆 E-mail: katsut@fukuoka-edu.ac.jp

9. その他

- (1) 審査の過程(11月初旬)で面接(模擬授業を含む)を行います。その際の交通費等は自己負担となります。
- (2) 給与及びその他雇用条件等は本学規程によります。
- (3) 定年年齢は満63歳です。(ただし、満65歳までは再雇用制度の適用が可能です。)
- (4) 退職手当：国、特定独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り、従来どおり通算されます。